

フーチングの耐力照査(H24)

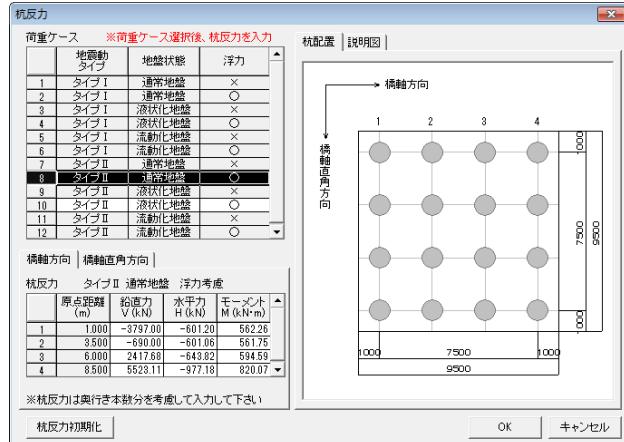
土木・建築設計計算 SUCCES

「道路橋示方書・同解説」（平成24年3月）に準拠し、単柱橋脚や橋台のレベル2地震時に対するフーチングの曲げ耐力照査、せん断耐力照査を行います。基礎形式は直接基礎および杭基礎に対応しています。

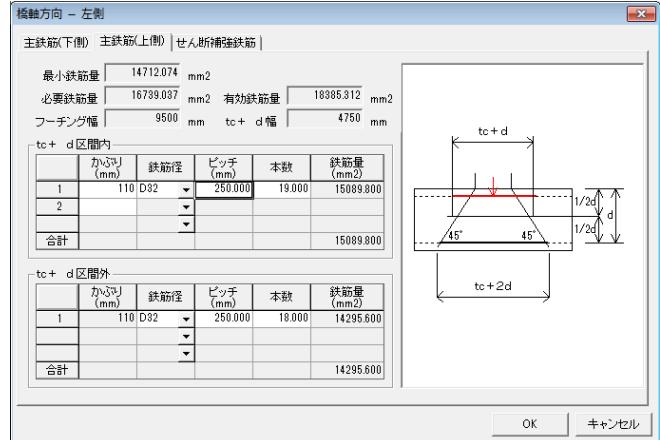
製品特長

プログラムの詳細

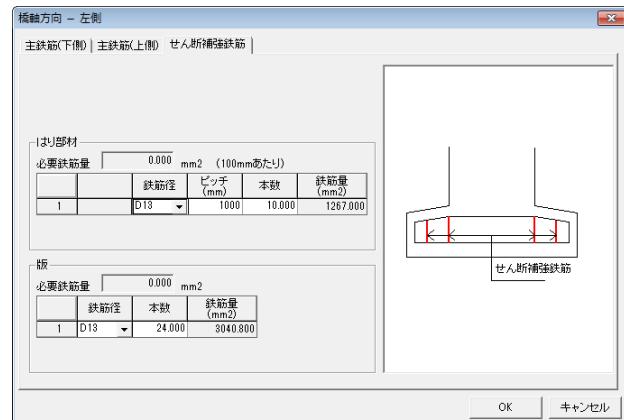
レベル2地震動のタイプI、IIおよび地盤状態の通常時、液状化、流動化の各荷重ケースを一括で照査することが可能です。



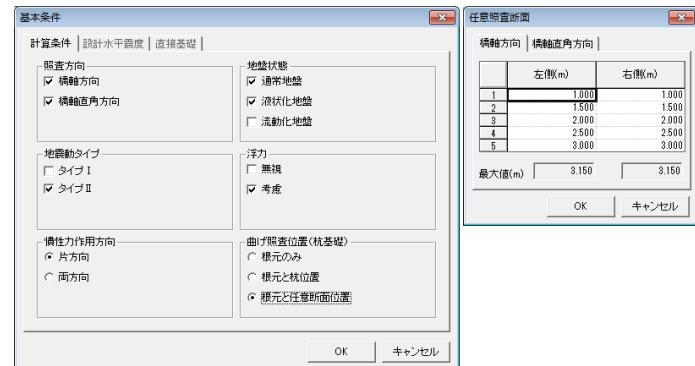
選択された荷重ケース全ての中から必要となる鉄筋量を算出することができます。



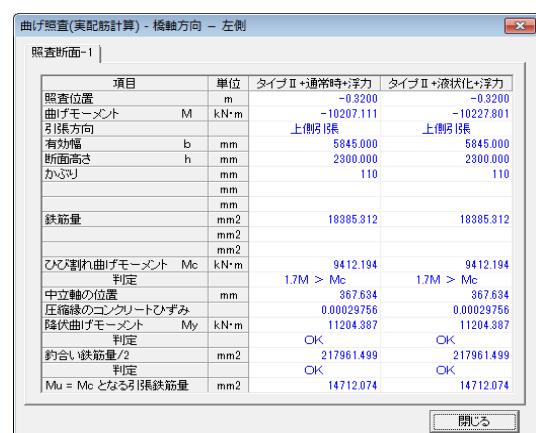
版としてのせん断照査の必要性を杭配置から自動判定します。



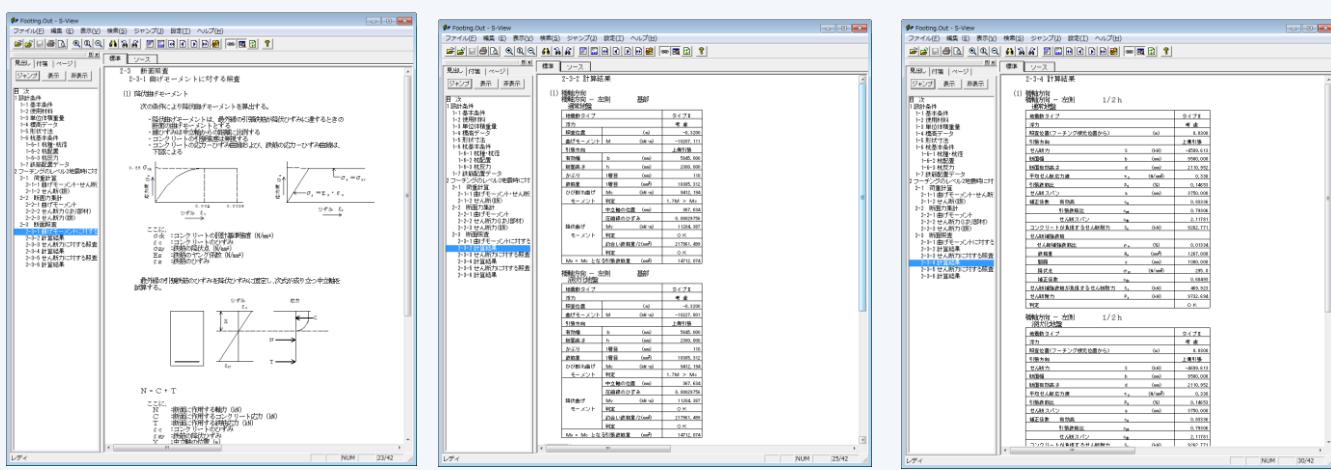
杭基礎の場合、任意照査断面を指定できます。



照査結果画面は、項目毎に○×形式にて一目で判断可能であり、結果表示は橋軸方向、直角方向別の決定ケースの数値表示で判断しやすいうように考慮されています。



画面例



システムの適応範囲

▶ 対応基準

- 「道路橋示方書・同解説III コンクリート橋編」（平成24年3月） 公益社団法人 日本道路協会
- 「道路橋示方書・同解説IV 下部構造編」（平成24年3月） 公益社団法人 日本道路協会
- 「道路橋示方書・同解説V 耐震設計編」（平成24年3月） 公益社団法人 日本道路協会
- 「杭基礎設計便覧」（平成27年3月） 公益社団法人 日本道路協会

▶ 対応構造物

- ・橋台
- ・橋脚

▶ 対応計算タイプ

- ・レベル2地震動（タイプI）
- ・レベル2地震動（レベルII）

▶ 対応柱形状

- ・矩形
- ・円形
- ・小判形

▶ 対応杭種

- ・鋼管杭
- ・PHC杭
- ・SC杭
- ・場所打ち杭
- ・RC杭
- ・鋼管ソイルセメント杭
- ・回転杭

▶ 対応基礎形式

- ・直接基礎（橋脚のみ）
- ・杭基礎

▶ 計算項目

- ・必要鉄筋量の計算
- ・最小鉄筋量の計算
- ・曲げモーメントに対する照査
- ・せん断力に対する照査（はり、版）

▶ 杭列数

- ・ $1 \times 1 \sim 30 \times 30$ 列

▶ 杭配置

- ・正方配置
- ・千鳥配置
- ・間引き配置
- ・任意配置

▶ 制限事項

- ・補強の計算はできません。
- ・連続フーチングの計算はできません。
- ・段差フーチングの計算はできません。

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11

※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ハードディスク

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ディスプレイ

1280×1024以上が表示可能なもの